

## 2019年度 第74回国民体育大会セーリング競技会北海道予選会

共同主催 : 公益財団法人 北海道スポーツ協会  
北海道セーリング連盟  
運 営 : 室蘭セーリング協会  
一般社団法人 札幌セーリング協会  
後 援 : スポーツ庁  
公益財団法人 日本セーリング連盟  
北海道教育委員会  
札幌市教育委員会  
室蘭市教育委員会  
一般財団法人 室蘭市体育協会  
株式会社 エンルムマリーナ室蘭

第一 開催地 : 室蘭市（エンルムマリーナ室蘭）  
大会期日 : 2019年6月29日（土）～ 2019年6月30日（日）  
種 目 : 成年男子 レーザー（LS）級  
成年女子 レーザーラジアル（LR）級  
少年男子 レーザーラジアル（LR）級  
少年女子 レーザーラジアル（LR）級

第二 開催地 : 小樽市銭函（銭函ヨットハーバー）  
大会期日 : 2019年7月20日（土）～ 2019年7月21日（日）  
種 目 : 成年男子 国体ウインドサーフィン級

この事業は、競輪の  
補助を受けて実施します。

競輪の補助事業



# 2019年度 第74回国民体育大会セーリング競技会北海道予選会

## 帆走指示書 (SI)

### 略語表記の意味

[DP]は、その規則の違反に対するペナルティーをプロテスト委員会の裁量により失格より軽減することが出来ることを意味する。

[SP]は、レース委員会が審問無しに標準ペナルティーを適用することができる規則を意味する。これらの違反と関連するペナルティーのガイドラインは、公式掲示板に掲示される。標準ペナルティーを課された艇の得点略語は「STP」である。レース委員会は抗議することもでき、その場合は審問を経てプロテスト委員会の裁量でペナルティーが決定する。これは RRS 63.1及び A5 を変更している。

[NP]は、この規則の違反は艇による抗議の根拠とはならないことを意味する。これは RRS 60.1(a)を変更している。

### 1. 適用規則

- 1.1 本レガッタには「セーリング競技規則 2017-2020」(以下: RRS)に定義された規則を適用しさらに日本セーリング連盟規定、現行クラス規則、レース公示、及びこの帆走指示書を適用する。
- 1.2 RRS 付則P、付則Tを適用する。「レース後ペナルティー」を履行した艇の得点略語は「ARB」である。これは、RRS A11を変更している。

### 2. 広告

主催団体による広告の要求はない。

### 3. 競技者・支援者への通告

競技者・支援者への通告は陸上本部に設置された公式掲示板に掲示する。

### 4. 帆走指示書の変更

帆走指示書(以下「SI」という)に変更がある場合には、それが発効する当日の最初の種目の予告信号時刻の60分前までに掲示する。但しレース日程の変更はそれが発効する前日の18時までに掲示する。

### 5. 陸上で発する信号

- 5.1 陸上で発する信号は、陸上本部である室蘭市B&G海洋センターの艇庫前にて掲示する。
- 5.2 [DP][NP] 音響1声とともに掲揚される「D旗」は、艇はこの信号が発せられるまで出艇してはならないこと、および「予告信号」はD旗掲揚後30分以降に発することを意味する。「D旗」が「クラス旗」の上に掲揚された場合、その種目のみに適用する。これは RRS レース信号を変更している。
- 5.3 最初の種目の予告信号予定時刻の「30分前」までに「D旗」が掲揚されない場合。そのレースのスタートは時間の定めなく延期されている。
- 5.4 「回答旗」が陸上で掲揚された場合、レース信号「回答旗」中の1分を「30分以降」と置き換える。これは RRS レース信号を変更している。

## 6. レース日程及びクラス旗

### 6.1 当日の最初のレース予定予告信号の時刻は次の通り

日程	予告信号予定時刻	種別	種目	レース
6月29日(土)	08:00	受付開始		
	09:00	開会式・ブリーフィング		
	10:25	成年男子	LS級	第1レース
	10:30	成年女子・少年男女	LR級	第1レース
	引き続き	成年男子	LS級	第2-4レース
	引き続き	成年女子・少年男女	LR級	第2-4レース
6月30日(日)	08:00	ブリーフィング		
	09:25	成年男子	LS級	第5レース
	09:30	成年女子・少年男女	LR級	第5レース
	引き続き	成年男子	LS級	第6レース
	引き続き	成年女子・少年男女	LR級	第6レース
	15:00	閉会式		

6.2 引き続きレースまたは一連のレースが間もなく始まることを艇に注意を喚起するために予告信号を掲揚する最低 5分以前に音響 1 声とともにオレンジ色旗を掲揚する。

6.3 引き続き行われる各種目のレースのスタート順は上記の順番に依らないことがある。

6.4 最終日の予告信号は13:00 より後には発しない。

6.5 本大会は各種目 6 レースを予定する。1 日に行う最大レース数は4 レースとする。

## 7. クラス旗

各種目のクラス旗は次の通りとする

成年男子LS級 : レーザークラス旗

成年女子および少年男女LR級 : レーザーラジアル旗

## 8. 大会の成立

本大会は各種目1レースの完了をもって成立する。

## 9. レース海面

添付図 1 に示す海面に設定する。風向等により設定海面は変更される。

## 10. コース

10.1 添付図 2 に回航すべきマークの順序及びマークの通過すべき側を示すコース図およびコース番号を示す。

10.2 最初のレグのおおよそのコンパス方位は予告信号以前もしくは同時に信号艇に掲示する。

10.3 コースは当該種目の予告信号掲揚時にクラス旗の下部に、コース番号を表示する数字旗を配置し信号艇に掲揚する。これは RRS 26 及び RRS レース信号を変更している。

## 11. マーク

- 11.1 マーク①、②、③は数字で1, 2, 3と表示された「黄色の円柱形ブイ」とし、SI 13に規定するレグの変更の新しいマークは「ピンク色の球状ブイ」とする。
- 11.2 スタート・マークはスターボードの端にある信号艇とポートの端にあるレース委員会艇とする。
- 11.3 フィニッシュ・マークはレース委員会艇と回航マークとする。

## 12. スタート

- 12.1 スタート・ラインはスタート・マーク上のオレンジ色旗を掲揚しているポールの間とする。
- 12.2 [DP] [NP] 予告信号が発せられていない種目の艇は、他の種目のレースのスタート手順の間、スタート・ラインからおおよそ50m以内のスタート・エリアを回避しなければならない。
- 12.3 スタート信号後4分以内にスタートしない艇は、審問なしに「DNS」と記録される。これは RRS A4、A5を変更している。
- 12.4 レースが再スタートまたは、再レースとなった場合に掲示される RRS 30.4に違反した艇のセール番号は、次のレースの予告信号前にレース委員会信号艇の後部に掲示される。
- 12.5 [NP] SI 12.3以外で、スタート時に OCS、UFD 及び BFD と記録された艇のセール番号を、一連のスタート完了後、レース委員会信号艇の後部に掲示する。この掲示に関して、艇からの救済の要求は認められない。これは RRS 60.1(b)を変更している。

## 13. コースの次のレグの変更

コースの次のレグを変更するために、レース委員会はSI 11に規定する新しいマークを設置し（またはフィニッシュラインを移動し）、実行できればすぐに元のマークを撤去する。その後の変更で新しいマークを置き換える場合、そのマークは元のマークで置き換える。レグの長さの変更は表示しない。これは RRS 33 (b) を変更している。

## 14. フィニッシュ

フィニッシュラインはフィニッシュ・マーク上の青色旗を掲げたポールと回航マークの間とする。レースが終了したときは音響1声を発する。

## 15. タイム・リミットとターゲット・タイム

- 15.1 タイム・リミットとターゲット・タイムは次のとおりとする。時間通りとならなくても救済要求の根拠とはならない。これは RRS 62.1(a)を変更している。

種目	タイム・リミット	マーク1のタイム・リミット	ターゲット・タイム
レーザ級	60分	15分	30分
レーザラジアル級	60分	15分	30分

- 15.2 種目別でRRS30.3及びRRS30.4に抵触しない最初の艇がコースを帆走してフィニッシュした後10分以内にフィニッシュしない艇は、審問なしに「DNF」と記録される。これは RRS 35、A4、A5を変更している。

## 16. 抗議と救済要求

- 16.1 抗議書は陸上本部で「所定用紙」を入手できる。抗議及び救済または審問再開の要求は、適切な締切時間内に陸上本部に提出されなければならない。
- 16.2 全ての種目に対して、抗議締切時刻はその日の最終レースの終了後、またはレース委員会が「本日はこれ以上レースを行わない」という信号を発した後、どちらか遅い方から「60分」とする。但し、プロテスト委員会の裁量によりこの時刻は延長することがある。
- 16.3 審問の時刻及び場所や、審問の当事者であるか、または証人として名前があげられていることを、競技者に知らせるため、抗議締切時刻後「30分以内」に通告を公式掲示板に掲示する。
- 16.4 SI 1.2に基づき RRS 42違反に対するペナルティーを課された艇のリストを公式掲示板に掲示する。
- 16.5 レース委員会、またはプロテスト委員会による抗議の通告を、RRS 61.1(b)に基づき艇に伝えるために公式掲示板に掲示する。
- 16.6 審問の再開要求は次の締切時間内に提出されなければならない。
  - ①要求する当事者が最終日以外に判決を通告された場合には翌日の抗議締切時間内
  - ②要求する当事者が最終日に判決を通告された場合には、通告後30分以内

## 17. 得点

- 17.1 艇の得点は、完了したレースが5レース未満の場合は全レースの合計得点とし、5レース以上完了した場合はその艇の最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。これは RRS 付則A2を変更している。
- 17.2 レーザーラジアル級の国体参加クラス(成年女子・少年男子・少年女子)の得点は、競技種目で区別せず同一種目としてレース得点を計算する。

## 18. 申告 [NP] [SP]

- 18.1 申告はタリーボードにて行う。
- 18.2 艇はD旗掲揚の有無に関わらず、各日程のブリーフィング後から最初のレースの予告信号予定時刻30分前までに、陸上本部に出艇申告をしなければならない。帰着後に再出艇する場合も出艇申告をしなければならない。
- 18.3 帰着申告は、レース終了の60分後を締切時刻とするが、原則として帰着後速やかにしなければならない。レース委員会の裁量によりこの時間を延長することがある。再出艇後に帰着した場合も帰着申告をしなければならない。
- 18.4 レースに出走しない艇は、陸上本部に参加しないことを申告しなければならない。(DNC申告)
- 18.5 リタイアしようとする艇、および引き続き行われるレースに出走しない艇は速やかにレース海面を離れ、近くのレース委員会艇にその旨を伝え、さらに艇長は帰着後、陸上本部にリタイア申告またはDNC申告をしなければならない。

## 19. 安全規定 [NP]

レース委員会は危険な状態にあると判断した艇に対しリタイアの勧告および強制救助を行うことができる。これは艇による救済要求の根拠にはならない。これは RRS 62.1(a)を変更している。

## 20. 装備の交換と計測のチェック [DP]

- 20.1 損傷または紛失した装備の交換はレース委員会の承認なしでは許可されない。
- 20.2 艇はクラス規則に従っていることを確認するため、いつでも検査されることがある。検査の指示を受けた艇は直ちに指定されたエリアに向かわなければならない。

## 21. 運営艇の標識

レース委員会艇	白色旗
プロテスト委員会艇	赤色旗
救助艇	緑色旗

## 22. 艇体・セールに関する特別許可 [DP]

- 22.1 各種目とも、クラス規則の艇体番号並びにセール番号の同一性に関する条項は適用しない。但し同一セール番号を同時に使用してはならない。
- 22.2 艇は自らの安全のためにマスト・トップに揚力を発生させない浮力体を取り付けることができる。また、コンディションにより脱着してもよい。これはクラス規則を変更している。

## 23. ごみの処分 [DP] [NP]

ごみは海中投棄してはならない。また、運営艇に渡してもよい。

## 24. 無線通信 [DP] [NP]

艇は、レース中に無線の送受信を行ってはならない。この制限は携帯電話およびGPSにも適用する。

## 25. 賞

レース公示による。

## 26. 責任の否認

本大会の競技者は自分自身の責任で参加する。RRS 4 [レースすることの決定]参照。  
主催団体は本大会前後、大会期間中に生じた物理的損害または身体障害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。

## 27. 帆走指示書に関する質問

- 27.1 帆走指示書に関する質問は2019年6月24日(月)までに文書で受け付ける。
- 27.2 質問の送り先は下記の通りとし質問についての回答は大会会場の公式掲示板に掲示する。

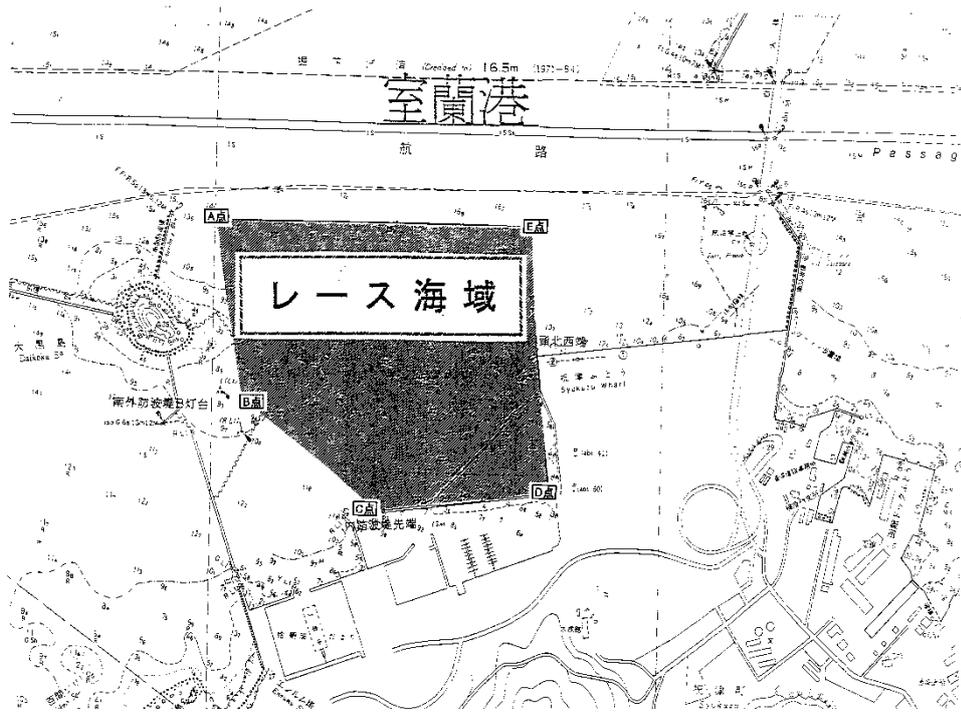
<送付先>

北海道セーリング連盟 田口真一

〒062-0905 札幌市豊平区5条11丁目1-1 北海道立総合体育センター内

Fax : 011-833-2218 Email : [yac647@gmail.com](mailto:yac647@gmail.com)

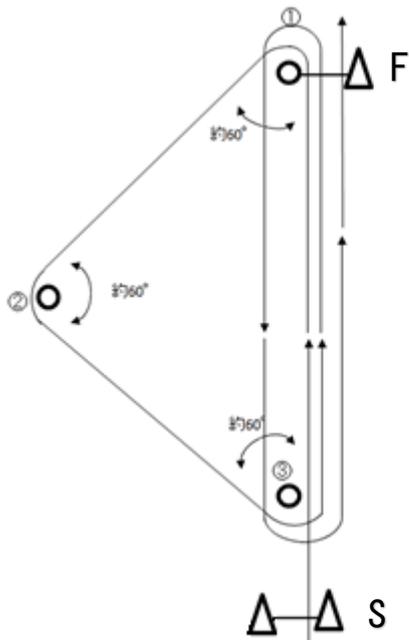
添付図1 レース海面 室蘭港内



添付図2 コース図

コース番号 1

掲示：数字旗1

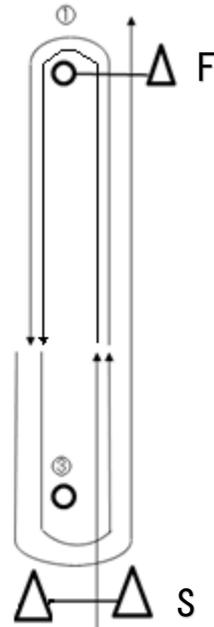


回航順序

S-①-②-③-①-③-F

コース番号 2

掲示：数字旗2



回航順序

S-①-③-①-③-F